

宝木地区・宝木町1の3自治会

「公民館を高齢者の憩いの場に」

●加入世帯 198世帯 ●加入率 97.0%

活動内容

宝木町1の3自治会は、住宅地域で開発もなく落ち着いたまちである。

昭和30年代から住宅地として発展した土地であるため高齢者世帯が増えつつあり自治会活動もこの点を重視し、公民館利用を積極的に行い籠り高齢者がでないように努めている。主な活動は次のとおりである。

①班長会議の毎月開催

自治会活動の理解を得、また、地域住民の情報交換の場として班長会議を毎月第1土曜日に開催している。

執行部からの一方通行の会議を避け、班長の意見情報を吸い上げ、これを自治会活動に反映させている。

②公民館を高齢者の憩いの場に

公民館を高齢者が気軽に集まれるように、地域の意見を吸い上げて、老人会が中心となって大正琴、絵手紙、編み物、カラオケ、囲碁・将棋などのサークル活動を開催し、高齢者の籠り絶無を目指している。

③あいさつ運動

地域の絆は日ごろの挨拶が大切である。特に児童に対する挨拶を積極的に行うよう班長会議で申し合わせして実践しており、子どもたちに挨拶の大切さを体験的に学びとらせている。

④防犯灯の維持管理

防犯灯の故障をなくし常に有効利用を図るため、日ごろ気づいた者からの連絡体

制を整えているが、なお、徹底するため、毎月第2土曜日を防犯灯の点検の日と定め、自治会役員、班長が交代に地域の巡回をして故障のある防犯灯の発見と防犯上気づいた事柄の指導を行っている。

⑤資源回収とごみの減量化

月2回の資源回収、さらに班長会議で話し合うなど生ごみの減量化に努めている。



⑥公園等の清掃

地域内にある宝木下原公園については、随時草むしりや清掃を行っている。公園愛護会には加入しておりません。



高い加入率を維持する秘訣

①宝木町1の3自治会は、新たな開発による転入者は少ないため、高齢者世帯の脱会を防ぐことを重視した高齢者世帯の班長免除制度を導入し、また高齢者を対象とした公民館を利用したサークル活動を推進し、自治会からの離脱防止につなげている。

②班長会議を定例開催しているため、未加入者の情報交換ができ、新たな転入者に対する役員による個別訪問により加入を勧めている。